

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (300)

場面と話題

タモツ君のお母さんがタモツ君のおばあさんと話しています。

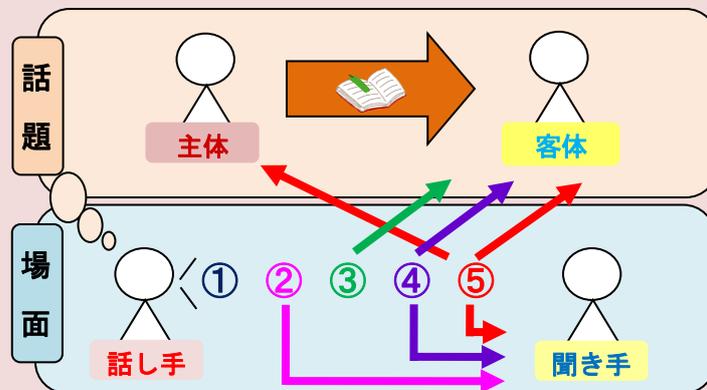
「敬語って、むずかしいですね。」

「そう。日本語の敬語は、場面の敬語と話題の敬語に分かれるの。場面の敬語が聞き手への敬意の表現である丁寧語になり、話題の敬語が動作・状態の主体への敬意の表現である尊敬語と、動作・状態の客体への敬意の表現である謙讓語になる。」

「話している場面での相手は聞き手ですけど、話した内容では、動作の客体が動作の主体にとっては相手になるから、わからなくなるのですね。」

「敬語のない「この本、やる。」と「この本、やります。」「この本、差し上げる。」

「この本、差し上げます。」とを比べて考えると、タモっちゃんにも、わかるかもしれませんね。話し手と動作・状態の主体との重なることのあることには、注意したいわね。」



【編集部注】

- | | |
|------------------|------------------------|
| ① この本、やる。 | 敬語のない表現。 |
| ② この本、やります。 | 話し手から聞き手への敬意。 |
| ③ この本、差し上げる。 | 話し手から動作の客体への敬意。 |
| ④ この本、差し上げます。 | 話し手から動作の客体と聞き手への敬意。 |
| ⑤ この本、差し上げなさいます。 | 話し手から動作の主体と客体と聞き手への敬意。 |

お知らせ

「ことばのコラム」は今回が最終回です。
長い間ご愛読いただき、誠にありがとうございました。
また、第1回からご執筆いただきました、宮腰 賢 先生（東京学芸大学名誉教授）に、
心から御礼申し上げます。